

食堂間仕切り 学生提案

広島工大 10月再開控え



食堂に設ける間仕切りのアイデアを説明する学生（奥右）たち

新型コロナウイルスの影響で中止しているキャンパスでの授業が10月から全面再開するのを前に、広島工

業大（広島市佐伯区）で、学内の食堂に設けるパーティション（間仕切り）のアイデア発表会があった。学生有志が感染防止と使いやすさを両立させる間仕切りを提案した。

テーマは6人掛けテーブルに設置する間仕切りのデザイン。事前審査で選ばれた建築デザイン学科の2グループが試作品について説明。木材と透明のプラスチック板を組み合わせ、隣席

とコミュニケーションを取りやすくするといった工夫をアピールした。

5月中旬からオンライン授業が続く同大では、24日に一部で対面授業を再開し、後期が始まる10月2日から全面再開する方針。同大は全面再開に合わせて食堂に間仕切りを設ける予定で、できるだけ学生の意見を反映しようとアイデアを募った。

発表会は17日にあった。参加した4年豊田健心さん（21）は「設計者と利用者という両方の視点を持って取り組めた。コロナ禍でなかなか思うように学べない中、成長できるいい経験になった」と振り返った。

（佐伯春花）